

定 規 文 注 告 稟

一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說
 調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字
 下げること、また句讀點は一字あけること。
 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新
 刊書、交換雜誌、入會手續、更に
 本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切
 左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 日本幼稚園協會

一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵
 券代用の場合には總て一割増）
 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七
 二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せ
 られたし。
 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出させません。特
 に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封
 に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送
 金を願ひます。
 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひ
 ます。

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年分拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和七年十一月十二日印刷納本
 昭和七年十一月十五日發行
 幼兒の教育 第三十二卷 第十一號

不 許 複 製 禁 轉 載

編輯兼發行所 倉橋惣三
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 印刷者 柴山則常
 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 合資杏林會
 東京市本郷區駒込林町百七十二番地

發 行 所 日 本 幼 稚 園 協 會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 振替口座東京一七二六六番

告 廣

特等面一頁 金參拾圓 二等面一頁 金貳拾圓
 一等面一頁 金貳拾五圓 一頁以下御斷
 神田區南甲賀町八品田典松に御申込下さい。

クリスマス・年末・お正月!

嬉しい季節を迎へる手技用品、今から拵へて楽しく待ちませう。

◇ストッキング用織紙——強靱の純日本紙の織紙、之を互に組み織紙の沓下に作つて贈物を入れます。

五十組 金七十錢

◇星——銀紙 $\frac{1}{4}$ 、金紙 $\frac{1}{4}$ の割に交ぜて打抜いた星の大小二種、装飾用として最も重要。

一箱 金三十錢

◇柘の葉——クリスマス装飾の必需品、濃緑とヒロ色をまぜて打抜き、圓い實を添へたもの

一箱 金三十錢

◇お誕生祝ひの鯛——意義あるお誕生日を祝ふ爲に厚紙製鯛型の美しいカード、裏面に「あなたのお誕生日をお祝ひします」とあり、頗る好評のカード。厚紙 金一圓八十錢

◇後藤運鑿紙——菊の花、柘、楓の三種が各種の色で抜いてあり、名稱の如く連繫して装飾用モールとします。

一箱 金三十錢

◇国旗まじりの丸・提灯まじりの丸——提灯、国旗、日の丸を打抜いたものを貼つて装飾にいたします。何れも百組入一箱。

一箱 金十八錢

◇カレンダー樹星形——厚紙の銀紙入櫃の星形、寫眞塗紙、カレンダー臺紙となる。

五十枚 金二圓五十錢

◇羽子板材料——桐白木の軽い羽子板、之にお細工意匠をして用ひます。

十本 金一圓

◇風の材料——幼兒のお細工、純和紙と竹の骨とで一組。

五十枚分 金一圓

◇獨樂用材料——幼兒自身が製作し意匠して廻すもの。

五十個分 金一圓

◇カルタ——子供カルタ(三〇錢)、桃太郎カルタ(二五錢)健康カルタ(二五錢)等



館ルベールフ 社會式株

番七二八三(33)段九話電・内館會育教・田神・京東 店 本
番八三一六局本話電 三町野平・區東・阪大 店 支

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
一月一頁 十五日發行

昭和七年十一月十二日印刷納本
昭和七年十一月十五日發行

定價三十五錢